

小倉さんぽみち

ここ小倉は古くは豊前小倉藩
細川氏四十万石から小笠原氏十五万石の城下町
歴史・文学・自然も重なりあうまち

●●●●● 北九州風景街道ルート
——— おすすめさんぽみちルート



「紫川の桜」 高さ約5.5メートルの「修善寺寒桜」と約3mの「しだれ桜」2本を植えたもので「下流から上流にかけて花が咲く時期を少しずつずらして長期間満開を楽しめる工夫をしています。」

大門のすぐ北側は海岸でした。その石壁の一部を歩道の下に保存されていて見ることが出来ます。

長崎街道沿いの屋敷跡から発掘された出土品などが展示されています。



九州では小倉の常盤橋から測量の第一歩を始めたその記念の碑が設置されています。

道路を利用してイベントなどが開催され、まちづくりに活用されています。

「大黒堂」「蛭子堂」「稻荷神社」が1つになって「瑜伽神社」といいます。鳥居も3つあるからサントリー神社とも呼ばれる!?

まちのおまつり
小倉の地蔵盆 (京町・鍛冶町)
街角にひっそりお地蔵さんがいます。8/24には地蔵盆まつりが行われ、地域の方に親しまれている場所です。

明治32年に森鷗外が小倉に軍医として赴任してきたときの家。小説「鷄」ではこの住宅の様子が描かれています。
*月曜日休館

